

## 主要経済指標等 (2014年)

●人口	611万人
●GNI総額	241.29億ドル
●GNI一人あたり	3,780ドル
●経済成長率	2.0%
●失業率 (2013年)	6.3%
●対外債務残高 (2013年)	133.72億ドル
●援助受取総額 (支出純額) (2013年)	1.71億ドル
●DAC分類	低中所得国
●世界銀行分類	iii/低中所得国

出典) WDI (世界銀行) 等。詳細は解説参照

表-1 我が国の対エルサルバドル援助形態別実績 (年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2010年度	-	17.29	10.51(10.46)
2011年度	-	2.35	12.98(12.65)
2012年度	-	12.83	8.07(7.79)
2013年度	-	2.45	8.98(8.71)
2014年度	125.95	2.49	7.39
累計	574.72	362.21	230.57(228.23)

※脚注参照

## ミレニアム開発目標 (MDGs) 代表的な指標

	過去データ	最新データ
●目標1: 1日1.25ドル未満で生活する人々の割合	17.1%(1991)	2.5%(2012)
●目標2: 初等教育における純就学率	75.5%(1998)	92.1%(2013)
●目標3: 初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率 (男子を1とした時の女子の人数)	0.99人(1991)	0.96人(2013)
●目標4: 5歳未満児の死亡数 (1,000人あたり)	59.5人(1990)	15.7人(2013)
●目標5: 妊産婦の死亡数 (出生児10万人あたり)	110人(1990)	69人(2013)
●目標6: 15~49歳のHIV感染率 (100人あたりの年間新規感染者数の推定値)	0.06%(2001)	0.03%(2013)
●目標7: 改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合	70.2%(1990)	93.8%(2015)

出典) Millennium Development Indicators (The Official United Nations Site for the MDG Indicators)

## 主要ドナーの対エルサルバドル経済協力実績 (2013年)

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

1位 米国	64.84	2位 スペイン	35.23	3位 ドイツ	26.11	4位 日本	22.91	5位 ルクセンブルク	9.80
-------	-------	---------	-------	--------	-------	-------	-------	------------	------

出典) OECD/DAC

## エルサルバドルに対する我が国ODA概要

## 1. 概要

エルサルバドルに対する我が国の経済協力は、中南米では初となる1968年の青年海外協力隊 (JOCV) 派遣取極の署名に始まる。1974年から有償資金協力も実施していたが、左右両派の対立が内戦にまで発展したことから、1979年にはJOCVの派遣を中断した。1982年から小規模の無償資金協力を開始し、1992年の和平合意による内戦終結を機に復興支援を始めとする本格的な援助を再開した。

## 2. 意義

中米地域の統合・連携強化に取り組んでいる中米統合機構 (SICA) の本部があるエルサルバドルは、地域市場統合を積極的に推進し、中米統合において中心的な役割を果たしている。同国に対する支援は、良好な二国間関係の構築にとどまらず、中米地域との関係の発展につながり、さらには、地域統合の進展を通じ中米全体の安定と平和の促進にも資する。

## 3. 基本方針

エルサルバドル政府が取り組んでいる重要開発課題のうち、我が国は、同国の自立的・持続的な開発を促進するため、経済の活性化と雇用拡大を中核として支援を行うとともに、環境保全に対する同国の取組への支援にも努めることを基本方針とする。

## 4. 重点分野

- (1) 経済の活性化と雇用拡大への支援: 過去に我が国が支援した空港、港湾、橋等の機能を最大限発揮するための支援や人材育成を行う。また、地場産業振興や、農業製品の国内販売の促進に向けた支援を行うことで、地域産業の確立や雇用の創出を図る。
- (2) 持続的開発のための防災・環境保全への支援: 防災教育を中心とした「コミュニティ防災」と同国防災担当部門間の「組織連携」の両視点に立ち、我が国の知見を活かした防災能力の強化に向けた協力を行う。また、気候変動対策など環境保全に向けた取組を支援する。

※注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2010年~2013年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2014年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。  
( )内はJICAが実施している技術協力の実績及び累計となっている。

表-2 我が国の年度別・形態別実績詳細 (表-1 の詳細)

(単位：億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2012年度	なし	12.83 億円 ・広域防災システム整備計画 (4.00) ・ノン・プロジェクト無償(2件)(7.00) ・草の根・人間の安全保障無償(19件) (1.83)	・貝類養殖技術向上・普及プロジェクト [12.06~15.06]
2013年度	なし	2.45 億円 ・草の根文化無償(1件) (0.06) ・草の根・人間の安全保障無償(22件) (2.40)	
2014年度	125.95 億円 ・サンミゲル市バイパス建設計画 (125.95)	2.49 億円 ・国営教育・文化テレビ局番組ソフト整備計画 (0.44) ・草の根文化無償(1件) (0.08) ・草の根・人間の安全保障無償(20件) (1.98)	・東部地域野菜農家収益性向上プロジェクト [14.05~18.05] ・地域警察活動に基づく新警察モデルの実施強化プロジェクト [15.02~20.02]
2014年度 までの累計	574.72 億円	362.21 億円	230.57 億円(228.23 億円) 研修員受入 1,950 人 専門家派遣 693 人

注) 1. 表-1 注釈同様

2. 技術協力においては、2012年度以降に開始され2014年4月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の〔〕内は、協力期間。

# エルサルバドル

表-3 我が国の対エルサルバドル援助形態別実績 (OECD/DAC 報告基準)

(支出純額ベース、単位：百万ドル)

暦年	有償資金協力	無償資金協力	技術協力	合計
2010年	-22.18	19.54	11.40	8.75
2011年	-23.57	3.84	11.39	-8.35
2012年	-22.71	3.17	14.94	-4.60
2013年	-18.57	14.16	8.75	4.34
2014年	-17.12	2.41	7.93	-6.79
累計	125.15	319.42	209.35	653.95

出典) OECD/DAC

- 注) 1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。
2. 有償資金協力及び無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額（有償資金協力については、エルサルバドル側の返済金額を差し引いた金額）。
3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。
4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁及び地方自治体による技術協力を含む。

表-4 主要ドナーの対エルサルバドル経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2009年	スペイン 127.74	米国 93.50	ドイツ 24.54	日本 17.17	ルクセンブルク 13.48	17.17	300.95
2010年	米国 162.68	スペイン 87.79	日本 31.00	ドイツ 19.77	ルクセンブルク 7.07	31.00	326.26
2011年	米国 182.29	スペイン 46.94	ドイツ 23.43	日本 15.22	ルクセンブルク 7.76	15.22	301.61
2012年	米国 172.20	ドイツ 26.00	スペイン 18.55	日本 18.11	ルクセンブルク 9.80	18.11	264.30
2013年	米国 64.84	スペイン 35.23	ドイツ 26.11	日本 22.91	ルクセンブルク 9.80	22.91	178.80

出典) OECD/DAC

表-5 国際機関の対エルサルバドル経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2009年	EU Institutions 24.86	IDB Sp. Fund 5.28	IFAD 4.51	GEF 3.80	GFATM 2.07	4.29	44.81
2010年	EU Institutions 52.52	GFATM 9.48	IDB Sp. Fund 3.69	IFAD 2.86	UNFPA 1.42	3.63	73.60
2011年	EU Institutions 42.46	GFATM 6.31	IDB Sp. Fund 4.31	IFAD 1.23	UNFPA 1.12	3.05	58.48
2012年	EU Institutions 23.41	GFATM 7.14	IDB Sp. Fund 4.34	GEF 1.98	UNFPA 1.02	2.49	40.38
2013年	EU Institutions 33.54	GFATM 14.82	IDB Sp. Fund 2.25	GEF 1.15	UNFPA 1.10	2.39	55.25

出典) OECD/DAC

- 注) 順位は主要な国際機関についてのものを示している。

表-6 実施済および実施中の開発計画調査型技術協力案件 (開発調査案件を含む) (開始年度が2010年度以降のもの)

案 件 名	協 力 期 間
エルサルバドル国再生可能エネルギー国家マスタープラン策定プロジェクト	11. 7~12. 3
経済インフラ復旧支援プロジェクト	12. 3~13. 3

出典) JICA

表-7 2014年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件

案	件	名
コンセプション・パトレス市ミラマル地区飲料水供給計画		
サン・セバスティアン・サリトリージョ市ロス・アマテス村飲料水供給計画		
サン・ロレンソ市アベル・ウィルフレド・ベラスコ・カルカモ初等学校整備拡充計画		
ソシエダ市プロフェソラ・セリナ・デル・カルメン・パス・デ・メンデス初等学校移転計画		
サン・ペドロ・ノヌアルコ市アウグスト・セサル・ロメロ高等学校整備拡充計画		
サン・ペドロ・マサウアト市ラス・イスレタス村初等学校整備拡充計画		
ヒキリスコ市エル・マルティージョ地区初等学校整備拡充計画		
ラ・ウニオン市コンダディジョ地区初等学校整備拡充計画		
アカフトラ市モロ・グランデ村初等学校整備拡充計画		
アバステペケ市3初等学校整備拡充計画		
サン・ミゲル市ロス・コラレス地区初等学校建設計画		
メアンゲラ・デル・ゴルフオ市4校整備拡充計画		
サン・ビセンテ市エル・マンガト地区交番建設計画		
サン・ミゲル市7番街交番建設計画		
サン・ホセ・ビジャヌエバ市ラ・セレナ地区初等学校増築計画		
センステンペケ市サンタ・ロサ村ラ・マラーニャ地区飲料水供給計画		
サン・アグスティン市リナレス・カウロタル村初等学校増築計画		
サン・シモン市ラス・ケブラーダス村エル・フンキージョ地区初等学校増築計画		
ポロロス市カルピントロ村診療所建設計画		
ヨロアイキン市ヨロアイキン保健所改築計画		

主なプロジェクト所在図 (2012年度—2014年度) アルゼンチン、ウルグアイ、チリ

